

製品安全データシート

販売会社 酒井重工業株式会社
 連絡先 酒井重工業株式会社 技術研究所
 住所 埼玉県北葛飾郡栗橋町高柳 2626
 電話番号 0480-52-6131
 F A X 番号 0480-52-0117
 作成 平成 17 年 7 月 20 日
 改訂 平成 19 年 8 月 22 日

製品名	ネッパラン・エコW	
物質の特定	単一製品・混合物の区別	混合物
	化学名	植物系油脂及び添加剤
	成分及び含有量	
	植物油系エステル	60～10%
	界面活性剤	10～30%
	水溶性溶剤	10～20%
	油溶性溶剤	10～20%
	上水	10～20%
	化学式又は構造式	特定できない
	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	企業秘密のため記載できない
C A S No	企業秘密のため記載できない	
P T P R 法	非該当	
労働安全衛生法	非該当	
危険有害性の 分類	分類の名称	分類基準に該当せず
	危険性	消防法 非危険物
	有害性	飲用不可。毒性弱い。
	環境影響	環境影響情報に記載
	物理的及び化学的危険有害性	物理的及び化学的性質に記載
応急措置	目に入った場合	清浄な水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けること。
	皮膚に付着した場合	水と石けんで付着した部分を洗う。
	吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち直ちに医師の手当を受ける。
	飲み込んだ場合	無理に吐かせないで医師の診断を受けること。口の中が汚染されている場合、水で十分に洗うこと。

製品安全データシート

火災時の措置	使用可能な消化剤 消化方法	霧状の強化液、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂。 火元への燃焼源を断つ。 初期消火には、粉末、炭酸ガス、泡消化剤を用いる。 大規模火災の場合は、泡消化剤を用いて空気を遮断することが有用である。水は火災を拡大し、危険な場合がある。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消化作業の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消化者の保護 適切な保護具（耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等）を着用する
漏出時の措置	周囲の着火源を取り除くこと。 人体に対する注意事項	作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用する。 屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に喚起を行うこと。
	環境に対する注意事項	少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙等を用いて吸着させ空容器に回収する。 多量の場合は漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、できるだけ空容器に回収する。河川、下水道等に排出されないように注意する。 海上の場合はオイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。 薬剤を用いる場合は、国土交通省令で定める技術上の基準に適合した物でなければならない。
取扱い及び	取扱い上の注意	炎、火花、または高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。 常温で取り扱うものとし、その際水分・爽雑物の混入に注意すること。 静電気対策を行い、作業服、靴等も導電性の物を使用する。 適切な保護具(保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等)を着用する。 容器は必ず密閉すること。 口で吸い上げるような事はしない。
保管上の注意	保管上の注意	冷暗所で換気の良い場所に保管すること。 熱・スパーク火災並びに静電気蓄積を避けること。 保管場所で使用する電気器具類は接地すること ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触や同一場所での保管を避けること。

製品安全データシート

暴露防止及び 保護措置	管理濃度	規定なし		
	許容濃度	TWA:1200mg/m ³ (197ppm)		
	設備対策	ミストが発生する場所は、発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。取扱場所の周辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設けること。		
	保護具			
	呼吸保護具	通常必要とはしないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。		
	目の保護具	飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を使用する。		
	手の保護具	長時間または繰り返し接触する場合は、耐油性手袋を使用する。		
	体の保護具	長時間取り扱う場合又は溢れる場合には、耐油性の長袖作業服等を着用する。		
	その他	導電性安全靴を使用する。		
物理的及び 化学的性質	外 観	淡黄色液体	揮発性	なし
	密 度	0.95(g/cm ³)(15)	流動点	- 10 以下
	引火点	なし	可燃性	なし
安定性及び 反応性	安定性	常温では安定		
	反応性	強酸化剤との接触を避ける 自己反応性なし、爆発性なし		
	危険有害な分解生成物	発生せず		
	その他の危険陸情報	情報なし		
有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)				
	皮膚腐食性	なし		
	刺激性(眼、皮膚)	長期又は繰り返し接触する場合には車轍がある恐れがある		
	発ガン性	なし		
	急性毒性	経口ラット LD ₅₀ 5,000 mg/kg 以上(推定値)		
環境影響情報	分解性	70%以上(OECD,301C,28 日間)		
	蓄積性	データなし		
	魚毒性	100 mg/L 以上(JIS K 0102,96 時間,LC ₅₀)		
廃棄上の注意	1.事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 2.投棄禁止 3.埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却する。 4.燃焼する場合は安全な場所で、且つ燃焼又は爆発によって他に危害または損傷を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。			

製品安全データシート

輸送上の注意	1. 陸上輸送	
	容器	金属製容器(18L)
	容器表示	一 品名 二 数量 1) 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬すること。 2) 第一類及び第六類の危険物及び高圧ガスとの混載をしないこと。
	2. 海上輸送及び航空輸送	
	船舶安全法	非危険物
	航空法	非危険物
	3. 国連分類及び国連番号	該当なし
適用法令	水質汚濁防止法	油分排出規制 (5mg/L 許容濃度)
	労働安全衛生法	非該当
	海洋汚染防止法	非該当
	有機溶剤中毒予防規則	非該当
	P R T R 法	非該当
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
その他情報 1 (引用文献)	1. 許容濃度の勧告(2000)日本産業衛生学会 2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2000) 3. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICAL TO HUMANS VOLUME 33 4. 製品安全データシートの作成指針・改訂版(日本化学工業協会)	

備考

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者には提供される物です。

取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。